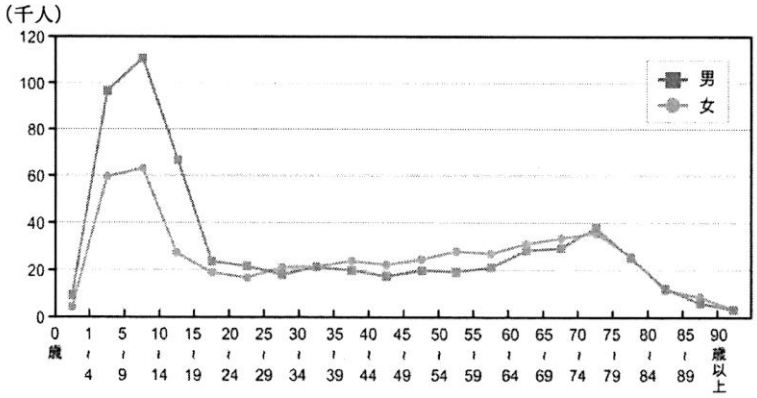
# 孝心新聞　２０１４　９月号

## 年齢層・男女別　ぜんそく総患者数




**①高齢の人は、風邪をきっかけに「ぜんそく」に発症することもある。**
**②3週間以上続く咳に気付いたら、医療機関を受診する。**
**③「ぜんそく日記」をつけることで、大きな発作を防ぐことができる。**

## ご注意！　長引くせき　大人のぜんそく

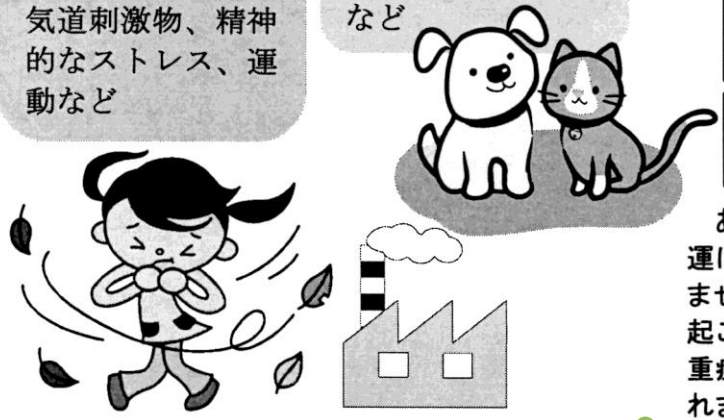
「喘息（ぜんそく）」とは、気道に慢性的な炎症が起こり、気道が過敏になっている状態をいいます。喘息というと、子どもの病気というイメージがありますが、大人にも少なくなく、特に60歳代、70歳代に多く見られます。しかし、呼吸困難の発作が起こらない場合には喘息であることに気付きにくいため、実際の患者数はもっと多いといわれています。

早期に発見して治療を始めれば、悪化を食い止めて、発作を予防することが可能ですので、喘息について知っておくことが大切です。

## ぜんそく発症の要因

**非アレルギー性**
かぜ、気象・季節の変化、大気汚染、気道刺激物、精神的なストレス、運動など

**アレルギー性**
動物の毛やフケ、ダニ、家のほこりなど



## 大人のぜんそくは大きく3つに分かれる

- 小児ぜんそくがあり、そのまま大人まで続く
- 小児ぜんそくが治ったあと、大人になって再発する
- 大人になってから初めて発症する

**あるとき、突然激しくせきこんで呼吸困難になり、救急車で運ばれた病院で、喘息と診断されるというケースは少なくありません。喘息を発症していることに気付かないうちに発作を起こしていても、本人は風邪が長引いているだけだと思い、重症化した場合には、そのまま窒息死してしまうケースもみられます。**

## 今月のスタッフのつぶやき

接骨院　孝心　検　索
http://kousin-hamamatsu.com

先月は、家族で西伊豆の土肥温泉へ。東名高速で清水まで行き、駿河湾フェリーに乗り約６５分で土肥温泉に着きます。新東名もあるため東名高速は空いており、運転の時間も短いので疲れずに行けました。次男と海水浴も楽しみましたが、台風の影響で海が濁っていたのが残念でした。　（院長）



今年の夏休みは時間を持て余し、ただ家事をするだけの日がありました。子供たちが成長し「どこかに連れて行かなくては！！」という考えはもう必要ないようです。これからは自分の自由な時間の計画ができます。(^_^)



子供たちの夏休みも終わりホッとしました。昼食の準備や宿題の手伝いなどで大忙しでした。宿題をしなさい！と言っても言い訳をしてやらない次男にイライラ。下の娘には机に座らせる習慣をつけさないと！　（真由美）



むちうち症（交通事故）、首や肩腰・膝の痛み、スポーツ障害、ねんざ、打撲、肉ばなれ、肩コリなどお気軽にご相談ください。

接骨院　孝心　検　索

NPO法人　東洋医学推進協会
接骨院　孝心
マッサージ・はり・きゅう院併設
TEL　053（451）4523
交通事故（自賠責）・健康保険
〒432－8023
浜松市中区鴨江1－37－17

